

三〇七九番

わたつみの 沖つ玉藻の なびき寝む はや来ま
せ君 待たば苦しも

三〇八〇番

わたつみの 沖に生ひたる 繩のりの 名はさね
告らじ 恋ひは死ぬとも

三〇八一番

玉の緒を 片緒に搓りて 緒を弱み 乱るる時に
恋ひざらめやも

三〇八二番

君に逢はず 久しくなりぬ 玉の緒の 長き命の
惜しけくもなし